



受け継ぐ復興への想い さらに強く



現地駐在員
辻 凌大 さん

(株)ウインウインより、3代目現地駐在員として4月から本市に派遣されました。幼少期に、復興に取り組むかんきつ農家の祖父母の姿を見ていたことから、自ら強く希望して赴任しました。



現場でも知識を生かし、説明します。

本市では、平成30年7月豪雨災害からの創造的復興に向け(株)ウインウインと締結した「地域おこし企業人派遣協定」に基づき、本市の基幹産業であるかんきつ産業の復興支援や継続した被災者支援の推進に取り組んできました。ゼロからのスタートながら、新規就農者の支援や農家同士の関係性強化、中間支援組織の設立支援など着実にあゆみを進めています。

3代目現地駐在員となった長崎県出身の辻さんは、本市を初めて訪れたとき地元の風景と似ている親しみを覚えたそうです。実家の



中間支援組織の育成のための伴走支援を行っています。

祖父母がかんきつ農家を営んでいたこともあり、前任の橋本さんに連れられて訪れた農家の人々からも好印象でした。辻さん自身も住民同士の距離感が近く、親しみやすいと感じたそうです。

今後は、かんきつの収穫やネットショップ開設などの経験を生かし、かんきつを中心とした産業の復興をさらに進めたいと話します。「前任より受け継いだ復興への想いとともに、宇和島の人たちの心に残る人間になりたい」と意気込みを語ってくれました。